

地質ニュース

昭和 56 年 11 月

第 327 号

1 9 8 1

日本石油ことはじめ (その 2)	福影松	田山邦和	理夫典	6
LANDSAT 映像のエッジ強調処理 方向差分によるカラー合成	星久	野保一俊	男介	17
昭和54年における日本の物理探査活動	小野	林吉	創彦	24
日米地熱資源評価に関する会議に出席して	角馬川金長八	場村原谷木	清健政啓敏治 愛三和司和郎	30
地質調査所の海外協力の発展への道をさぐる — 国際研究協力課への併任を終えて —	富	榎	幸雄	42
キリマンジャロ火山切手 コモロ諸島カルタラ火山噴火の切手	P.		Q.	51
経済地理メモ— 社会主義国編 — ⑥ユーゴスラビア	資料	情報	係	52
中国のキンパーライトとダイヤモンド	岸	本	文男	54
地質標本館だより 新たに復元されたデスモスチルス	犬	塚	則久	59
白木峰 SHIROKIMINE	野坂加福	沢本納月	保隆夫 恒	64

口 絵 LANDSAT 映像の方向差分 (微分) 写真

編集 地質調査所

表紙の写真

カラー合成エッジ強調写真

7バンドのLANDSAT映像から エッジ強調写真を作ると映像中の地質線構造 (リニアメント) が抽出され 映像による地質構造解折 については資源探査 災害予知に有効であることが判ってきている。

これは 今回 この考えを進めて エッジ強調技法を LANDSAT 映像のカラー合成写真に適用して作製した写真である。映像原版は 1972年12月15日 LANDSAT-1号撮影 (ID 記号 E1145-00542) これをランベルト図法により位置補正したものに1次微分の方向差分処理を行った。差分方向は北東—南西 コンピューターにより 方向差分 ストレッチ演算処理を行い フィルム化した4, 5, 7バンド写真をフォールスカラー方式でカラー合成することにより作製された。

中央や、南に富士および愛鷹 その東南方に箱根の諸火山があり 西に甲府盆地 東に相模川中流 北に多摩川上流までを含んだのが本図の範囲である。丹沢・関東山地が過半を占め 従来知られていた西北西—東南東のほか、南北性のリニアメントが顕著に現われている。また富士山頂から丹沢南縁に東西性のリニアメントが見える。詳細は本文および口絵写真を参照。(星野 一男)

発行 株式会社 実業公報社